



筒井633
☎98514140

松前町ふるさと
ライブラリー

9月の新刊

- ◆続・悩む力／姜 高中
 - ◆ひなこまち／島中 恵
 - ◆清洲会議／三谷 幸喜
 - ◆ケルベロスの肖像／海堂 尊
 - ◆サラダ好きのライオン／村上 春樹
 - ◆重力とは何か／大栗 博司
 - ◆ミツカン社員のお酢レシピ／ミツカン
 - ◆ふくろう／梶 よう子
- ※この他にもたくさんのお本が入っています。

おはなしかい

日時 9月22日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

9月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 9月30日(日)

東
公民館

神崎210
☎98411159

放課後子ども教室



6月29日、地域の人とさまざまな体験活動を行い、子どもの安全な居場所づくりを進めて行く、放課後子ども教室の開講式を行いました。
7月6日の学習「夏の生き物の観察」では、31人の子どもたちが参加し、学習アドバイザーが採ってきた、こうもり、田んぼや池などの生き物に、直接触れて観察をしました。
こうもりを籠から放つと教室一杯飛び回り、皆キャラクターと大騒ぎになりましたが、中にはこうもりを家に持ち帰る子どももいました。
全28回の学習は、積み木遊び、たこ作り、おむすびやおやつ作りなどバラエティに富んだ内容となっています。子どもたちの笑顔のためにがんばりたいと思います。

やりたいことは二度寝だけ

津村 記久子 著 / 講談社

検索が生きがい。文房具集めとハーブティーで日々を潤し、ドラクエで自分の20年を振り返る…。庶民系芥川作家・津村記久子による“地味面白い”エッセイ集。



歌え!多摩川高校合唱部

本田 有明 著 / 河出書房新社

混声合唱なのに男子が4人しか残らなかった多摩川合唱部。そこへ“元気が取り柄”の新入部員が押し寄せて…。Nコン第70回大会に向けて奮闘した実話にもとづく小説。



大接近!妖怪図鑑

軽部 武宏 作 / あかね書房

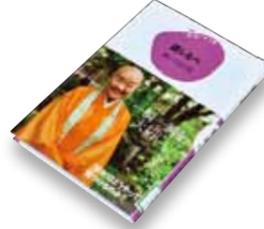
唐傘小僧、ぬらりひょん、毛羽毛現、海和尚…。有名な妖怪からめずらしい妖怪まで、22の妖怪を迫力あるタッチで描き、大きさや特徴などを説明します。両開きページあり。



道しるべ

瀬戸内 寂聴 著 / 講談社

作家であり住職である瀬戸内寂聴が次世代を担う若者に熱く語る生き方指南。「常識を疑え」「挑戦する勇氣を持って」「愛するために生きよ」といった珠玉の言葉が満載。



西
公民館

北黒田966-2
☎98415313

愛護部キャンプ



「この地のぬくもりに子らは育つ」新成小学校の閉校記念碑と銀杏の大木に迎えられる、7月21・22日の2日間、新宮少年自然の家でキャンプ生活が始まりました。小・中学生、保護者、愛護部役員合わせて総勢119人の参加です。
異年齢の15班編成で、さまざまな活動をしました。昼間は川遊び、カレー作り。夜は、キャンプファイヤー、花火大会、そして歓声・泣き声の飛び交った肝試しなどをして楽しみました。特に今年度は、58人の中学生の参加があり、各班のリーダーとして小中学生に優しく教えながら、自主的に活動する姿が多く見られました。
愛護部役員をはじめ、お世話いただいたすべての皆さん、本当にありがとうございました。

包
括支援

筒井71011
☎98514205

松前町地域包括
支援センター

アルツハイマー型認知症ケア

アルツハイマー型認知症は、根本的な治療はありませんが、治療により病気の進歩を遅らせることができます。自分らしい暮らしをより長く続けるため、適切な治療を受け、介護サービスなどを上手に利用しましょう。

◆アルツハイマー型認知症ケア3つの柱

- ①薬物療法 「もの忘れ」の進行を遅らせる、行動・心理症状を抑える
- ②非薬物療法 脳の活性化を行い、残っている認知機能や生活能力を高める
- (例) 回想法：昔の写真や映像で、懐かしい思い出を語ることで脳を活性化

芸術療法：絵画、陶芸、俳句など表現することで不安や抑圧を解消
音楽療法：音楽を聴く、歌う、演奏することで脳を活性化

③介護ケア 慣れ親しんだ環境で、安全に質の高い生活を送るための生活環境の整備や介護保険サービスの活用

アルツハイマー型認知症の初期は、家族のケアで対応できますが、症状が重くなると対応できなくなります。問題を抱えこまず、医療機関や介護事業所と相談して認知症ケアをしましょう。

北
公民館

昌農内456-1
☎98417529

分館家庭教育学級



6月25日～7月10日、「分館家庭教育学級(愛護部巡回学習会)」を開催しました。昨年度に比べて参加人数が増えた分館が多く、愛護部や分館役員関係者の興味の高さがうかがわれました。
その中で上映した『ゲータイトラブル』では、「掲示板の罠」「学校裏サイトの罠」「プロフィール(自己紹介サイト)の罠」の事例を紹介していました。携帯電話がもたらす危険の大きさ、その陰に潜む家庭・学校における人間関係、親子関係のあり方などが重要であることに、参加者一同が改めて認識するよい学びの機会となりました。
子どもたちを犯罪者・被害者にしてしまわないよう、地域の皆様と共に寄り添い見守っていきたいと思います。